

玄関前の庭園にある木々が病気にかかっており朽ちてきていることから荻野校務員を中心に植え替えを取行。「今だからできる作業」と重機を持ち込み整備が図られました。



昭和 55 年に作られた碑(移転 20 年を記念して作られています)を覆うようにあった木々が取り払われすっきりとした感じに。ここに 2 棟と 3 棟の間にあった木々を植え替えるということでした。



また、寮の方では、各部屋に消毒用のスプレーを設置するなど少しずつではありますが、学校再開に向けた準備も進めています。登校可能日が設定できなくなったので、各学年では課題や配布物を郵送。学校再開に向けてはまだまだハードルは高そうですが、衛生面での配慮や健康観察の仕方など再開後を見据えたことを考えていきます。1 年生はオリエンテーションが全くないままでしたので、学校に慣れることからのスタートです。5 月、6 月の行事予定も大きく変更になります。中間考査、PTA総会、スポーツテストなどおそろくできるはずもなく、6 月の文化祭も現状、例年通りの実施は不可能か

と思います。どのような形での実施になるか、また実施できるのかは生徒会との相談になりますが、時期と方法については検討が必要です。来週から始まるゴールデンウィーク中の世間の動向がカギを握るでしょう。緊急事態宣言が解除の方向に行くかどうかは今週来週の動きが大事になってきますし、その後例え解除になったとしても継続的に感染防止対策は取らなければならないと思いますので、行事も延期か中止かを考えなくてはなりません。夏季休業中の日程も変えなくてはならないでしょう。2 学期までを見通して行事計画も変更していきますので、HP等での確認をお願いします。

確認と言えば生徒の皆さん、各学年のClassiによる連絡をきちんと確認できていますか？ 私たちの高校時代からは想像もできなかったオンライン授業が臨時休業に伴う学習補償として注目を集め、各学校で導入されてきています。本校ではClassiを利用して課題の発信や簡易テスト、授業内容の配信などをスタートしています。



写真左が連絡内容です。スマホやパソコンから登録し、ログインすると選択画面が出てきて校内グループから入ると写真左のように連絡事項が表示され、その中にプリントが張り付けてあったり、写真右のような動画が張り付けてあったりして、学習内容を生徒に伝えるようになっていきます。



教師側は誰が見たかとかもチェックできるようになっています。動画については、先生方も工夫され、誰もいない教室でカメラをセットし、生徒がいるように話しかけながら撮影したものを配信しています。先生同士で撮影しあったり、テスト内容を相談したり、課題を出すだけでなく解答を示したりと生徒の皆さんの学習継続に努力されています。見ていない

生徒には、設定がうまくいっているのかなど心配しながら連絡を取り、見る習慣と学習習慣を維持することができるように先生方は苦心されています。自分一人で取り組むには、大変なことも多いですが、先生方の発信される内容を確認し、自学自習を進め、再開時にはスムーズに授業に入れるようにしておいてください。

最後に 4 月 22 日付神戸新聞北播版に加東市観光協会が観光施設や商工業者らを支援するためお土産品セットを通信販売する記事が掲載されましたが、その中に本校生活科学科開発の「桃ピューレケーキマカレー」が入っていました。お土産品として認知され、とても嬉しく思いました。

